

塗布形素地調整軽減剤 「サビシャット」

Application-type Surface Preparation Agent
「SABI SHUT」

塗料事業部門
建築・構造物塗料事業部

防食塗装を施すうえで最も重要な素地調整は、「削る」という作業により粉塵や騒音などの課題があり、また労力も大きい。これらを軽減したいという要望のもと、人と環境に優しい工法が求められている。当社ではそれらの要求に応え、これまでの物理的な素地調整法を不要ないしは軽減できる塗布形素地調整軽減剤「サビシャット」を提案している。

国土交通省の新技术登録情報システム(NETIS)において、平成27年度の推奨技術として選定された本商品の有用性を紹介する。

特長

1. 粉塵や騒音発生を低減

清掃ケレン程度の素地調整で、従来の2種ケレンと同等以上の下地を形成

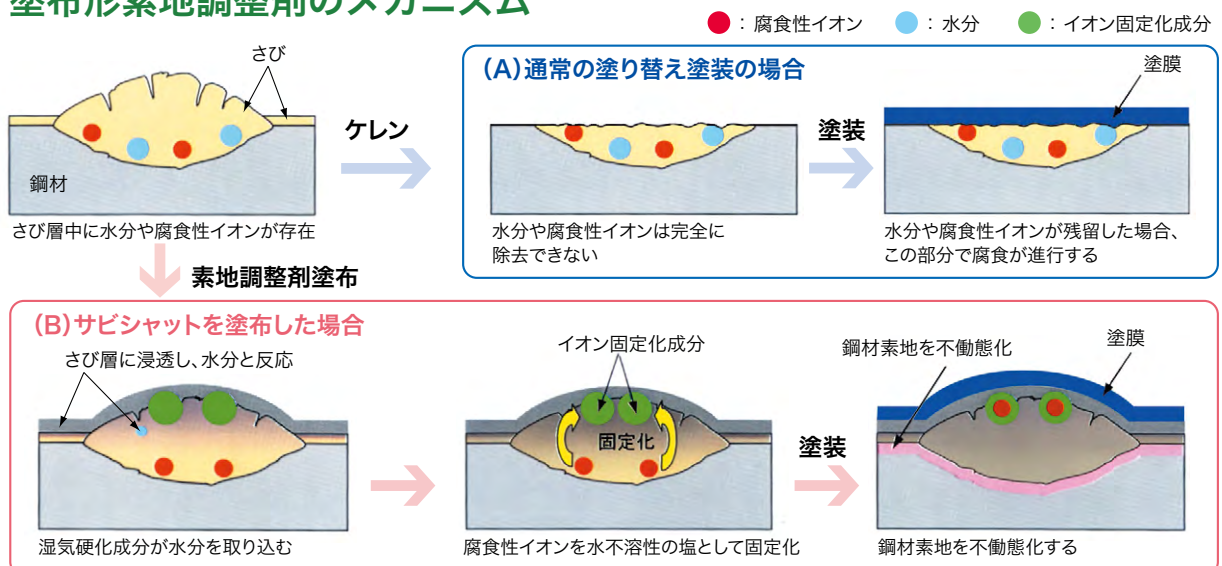
2. 高い信頼性

- 国土交通省の新技术情報提供システム(NETIS)に登録されている
- 1000件以上の採用実績がある

3. NETIS平成27年度推奨技術に選定

推奨技術を活用することで、工事成績評定点の更なる加点対象となる

塗布形素地調整剤のメカニズム



推奨適用箇所

- 素地調整困難箇所
 (ボルト継手部、溶接部、桁端部、狭陰部など)
- 環境上の制約場所
 (火花を発生できない化学工場、病院周辺など)



サビシャットの効果(防錆性の向上)

さび鋼板を条件①～③で作成し、塩水噴霧試験2500時間の防錆性試験を行った結果、②のサビシャットを塗布した場合、防錆性の向上が確認できる。

	条件①	条件②	条件③
素地調整	ISO-St3	清掃ケレン	清掃ケレン
素地調整剤	—	サビシャット(0.10kg/m ²)	—
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(50μm)		
評価結果 (塩水噴霧試験 2500時間)			
	一般部: 発錆なし	一般部: 発錆なし	一般部: 著しい発錆
	カット部: 膨れなし	カット部: 膨れなし	カット部: 著しい膨れ

性状

項目		内容			
容姿		二液性			
色相		乳褐色			
密度 (23℃)	塗料	1.08			
	揮発分	0.87			
加熱残分		55%			
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃	
		指触	2時間	1.5時間	1時間
	半硬化	5時間	3時間	2時間	

塗布基準

項目		内容			
下地処理		4種ケレン(浮きさび・塵埃・付着物などをマジクロン・ダスター刷毛・皮スキなどで除去する。)			
塗布方法	塗布方法	刷毛・ローラー			
	標準使用量	0.10kg/m ² /回			
	標準膜厚	—			
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃	
	最小	5時間	3時間	2時間	
	最大	3日	3日	3日	

塗装仕様例(省工程仕様)

工程	商品名	標準使用量 (kg/m ² /回)	標準膜厚 (μm/回)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	4種ケレン(清掃ケレン) (浮きさび・塵埃・付着物などをマジクロン・ダスター刷毛・皮スキなどで除去する。)			4時間以内
素地調整剤	サビシャット	0.10	—	3時間以上 3日以内
補修	Vグラン下塗	(0.15)	(50)	4時間以上 1ヶ月以内
下塗り	Vグラン下塗	0.15	50	4時間以上 1ヶ月以内
上塗り	Vシリコンスーパー	0.24	80	—